

# 環境都市常任委員会

(令和6年1月16日)

## 環境都市常任委員会

午前 10時10分 開会

○大野祐司委員長 ただいまから、環境都市常任委員会を開会いたします。

本日の会議は、タブレット端末に掲載した日程及び資料により進めてまいります。

それでは、2、協議事項、調査検討テーマについてを議題とします。

令和5年12月19日の委員長報告の読み合わせの際に御連絡いたしました政策提言に向けて調査研究したいテーマを、委員の皆様からお伺いしたいと思います。

御意見のある方は挙手をお願いいたします。

風間正子委員。

○風間正子委員 提言ですけれども、メンバーが変わったから変わるのはどうかなと。やっぱり一つの目標に向かって新しく観光とか何かを考えていく上だったら、前回やったかもしれないけど、その後が、もし、続行できるようなものがあるのかどうか、少しそういう提言を続けるってことも必要なかなって感じがするのですね。こうやって、新しいものを追いかけていくのがいいのか、その辺から少し議論したほうがいいのかって感じがするのですけれども、本来。どうなのでしょうかね。

○大野祐司委員長 今のをまとめますと、前回テーマの深掘りということによろしいでしょうか。

風間委員。

○風間正子委員 そうすることがいいのか、もしくは、もう少しテーマを私たちは、私たちが決めてやっていくのもいいだろうし、ただ、その辺を一回見直す必要あるかなって。全く関係ないわけでもない。

○大野祐司委員長 高橋文雄委員。

○高橋文雄委員 表丹沢のにぎわいづくり、これはあれかね、こっちの所管じゃない。

〔「所管」と呼ぶ者あり〕

○大野祐司委員長 高橋委員。

○高橋文雄委員 あるとすれば、森林観光を目指して行って、メインの目的がありますけど、観光を含めてやっぱりその辺をちょっと具体的にいろいろ提言していったらどうか。

○大野祐司委員長 田中めぐみ委員。

○田中めぐみ委員 私も前回テーマの結果や、それに対する成果はどうだったのかっていう検証は一度必要なかなって思うのですね。前回は初めての政策提言だったということを知ったので、その結果を調べたほうが、この政策提言に意味が出るのかなとか、重くなるというか、そういうふうになるのかなって考えているので。ただ、アイデアをちょっと考えてきたんですけど、高橋委員からもお話あったように、私も森林を観光と

もう少し組み合わせたくなっているふうに考えています。私が考えたのが、秦野の観光業でもうちょっと稼ぐというところ、行政のほうで稼ぐ自治体になってほしいなっているふうに考えていて、例えば、くずはの森とかで森林資源とか、どんぐりとか、そういったものとかを仕分けをしたりして、それをまとめて売ったりだとか、そういうものを集めて、例えば、クラフトとか小田原市でやっているんですけど、そういったものを切り株とかにして、200円ぐらい払うとみんなで工作できたりするのです。表丹沢野外活動センターだとか、くずはの森だとか、そういったところで思い出になるようなものが作れたりすると、来た人もやったりするだろうし、秦野市の子供たちも野外活動とかで来たときに、きっとそういうものを利用したりすることができるんじゃないかというふうに考えていて。今、そういうところに行ったときに自然を楽しむだけで終わると思うんですよね。

あと、公共の、体育館にも秦野の観光資源とかを置いていただきたくて、今は指定管理者の商品とかが置いてあると思うんですけど、それを秦野の特産物とかも置くようにして、販売できる場所を増やしたりすると、売上げにつながるんじゃないかと思っています。稼げる自治体ですかね、私の考えで言うと。

○大野祐司委員長 他にございますか。

吉村慶一委員。

○吉村慶一委員 年末年始のテレビとか新聞を見ると、共通してテーマに挙がっていたのが人手不足です。我々の所管の分野で言えば、交通とか、建設とか、それからインフラの維持とか、あと農業も含めて産業一般、ほとんど全て人手不足で、社会が成り立たなくなるであろうという問題意識の番組が多かったということで、今回は人手不足というのをテーマに、時間をかけて勉強して、何らかの問題提起ができればなっているふうに私は思いました。付け加えて、前回のテーマなんかも弘法山周辺の活性化みたいな、あれは、まだ現実に政策が何も実現されていないから、だから結果を検証するにも至らないという、それも風間委員が言ったのは、もっとプッシュしなきゃ駄目だよねという意味だと思うんだけど、それは個々の議員のそれぞれの質問とかでフォローすることで、常任委員会全体でやることになる、少し大きめのテーマでやったらどうかということで、人手不足に対する提言が私のテーマ。

○大野祐司委員長 阿蘇佳一委員。

○阿蘇佳一委員 私はね、市が盛んに4駅の活性化っていうふうに言っていますが、現状は全く逆の状態なわけね、実際に4駅の活性化するにはどうしたらいいのかっていうのは、ちょうど我々の委員会としてのテーマとしてはね、人手不足と言われたけど、それは全体的な日本全国の問題だから、もうちょっと常任委員会としては、私たちは前回の一般質問で言ったんだけど、例えば、東海大学前駅は4駅の中で一番にぎわいのある、学生が2万人いるわけですからと言われているけれども、メインのダイエー

のスーパーが先月で閉まった。それから、温浴施設も閉まった。パチンコ屋も閉まった。一番4駅の中でのぎわいがあると言うけれども、さっきも言ったように真逆で、あまり危機感を感じてない。ちょっとしたイベントをやって、イベントに反対はしないけれども、線香花火的なことだけでは収まらない。東海大学前駅、それから鶴巻温泉駅に関しても、マンション計画はあるけれども、凍結、何も建たない。特に秦野駅は一番、市役所もそうだし、いろんな利用があるけれども、駅ビルも半分以上は空いている。渋谷駅のほうは、生活実感としてはあまりない。4駅の活性化、スローガン、目標を立てることは大事だけれども、あまりに真逆な現状過ぎて、もうちょっと深刻に。駅ににぎわいがあることは確かに必要なんだけど、東海大学前駅を見れば分かると思いますが、中心部が真っ暗で。吉村委員のおられる下大槻団地の近くのコンビニも閉まって、おじいちゃん、おばあちゃんが苦労している。環境都市常任委員会でいくとね、やっぱり4駅の活性化をどうするのかなど、まさに深掘りというか、そういうのが委員会としての仕事があるんじゃないのかなっていうふうに思っています。

○大野祐司委員長 皆様から御意見いただいたところでございますので、ここで一旦暫時休憩します。

午前10時19分 休憩

午前10時34分 再開

○大野祐司委員長 再開いたします。

今回御提示いただいた、皆様から出たテーマにつきましては、正副委員長において、少し練ってみたいというふうに思いますので、よろしくお願いします。

次回、2月16日の常任委員会の際に、御提示させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

議会局書記。

○議会局書記 それでは次回の開催予定について御連絡いたします。

次回の常任委員会は2月16日・金曜日の議員連絡会終了後に開催いたしたいと思えます。

議題は引き続き、調査検討テーマの選定と、本年5月に実施する予定の所管事務調査について日程調整などを行う予定です。

視察先につきましては、なるべく調査検討テーマを踏まえて選定していきたいと考えておりますので、委員の皆様で、もし視察先の案がございましたら、次回、御意見を伺いたしたいと思います。

以上でございます。

○大野祐司委員長 皆様から何かございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大野祐司委員長 ないようでしたらこれで環境都市常任委員会を閉会いたします。

午前 10時35分 閉会